

静岡県東部地域企業経営動向調査

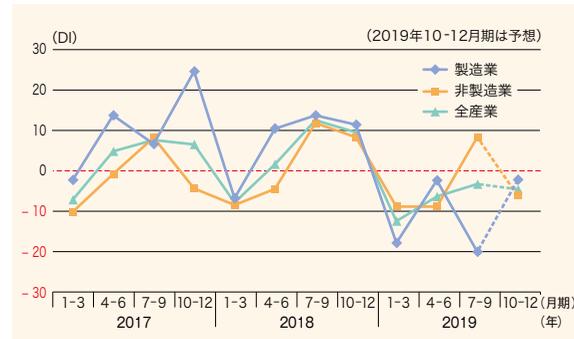
(2019年7-9月期実績、2019年10-12月期見通し)

① 業況概要(自社)

製造業は大幅な低下。非製造業は全産業で上昇

静岡県東部地域における2019年7-9月期の業況判断DI(全産業:前期比)は、前期よりやや上昇し-3.2(前期-6.3)となった。業種別では、製造業が-20.0(前期-2.3)と大幅な低下となり、特に食品や金属製品での低下幅が目立つ。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所、卸・小売・サービス、建設のいずれも前期比上昇し、全体では8.4(前期-8.8)と3期ぶりに「上昇」超に転じた。

2019年10-12月期の予想DI(今期比)は、製造業(-2.2)では上昇に転じるが依然「下降」の水準、非製造業(-6.1)は低下し、全産業では-4.5と小幅ながら低下に転じる見通し。



業種別天気図 業況好調 ← → 業況不振

(2019年4-6月期、2019年7-9月期は前期比。2019年10-12月期は今期比予想)

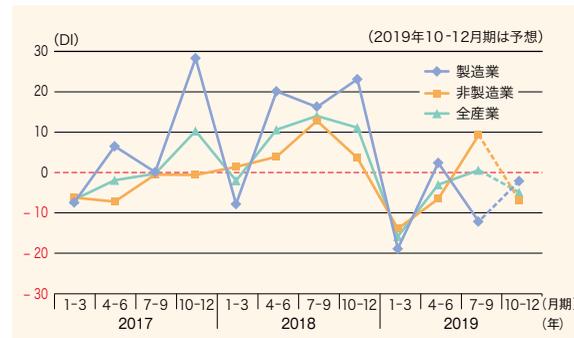
	製造業	食品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2019年4-6月期	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
2019年7-9月期	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☀️
2019年10-12月期	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️

② 売上動向

製造業は「減少」超、非製造業は「増加」超に、それぞれ転じる

2019年7-9月期の売上動向DI(全産業:前期比)は、0.5(前期-3.1)と小幅ながら2018年10-12月期以来の「増加」超となった。業種別にみると、製造業全体ではパルプ・紙・紙加工品は横ばいとなったが、食品、金属製品など他業種は低下し、全体でも-12.2と「減少」超に転じた。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所、建設、卸・小売・サービスいずれも改善し、全体でも9.2と「増加」超に転じている。

2019年10-12月期の予想DI(今期比)は、製造業(-2.2)は改善を見込むが、非製造業(-6.9)は低下に転じる見通しで、全産業では-5.0となっている。

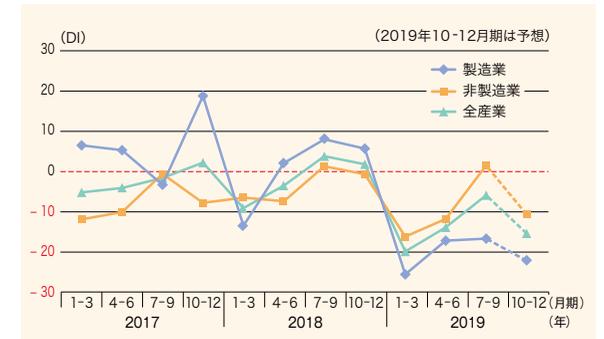


③ 利益動向

製造業はほぼ横ばい。非製造業は改善し「増加」超に転じる

2019年7-9月期の利益動向DI(全産業:前期比)は-5.9(前期-13.9)と「減少」超ながらも改善が進んだ。業種別にみると、製造業全体では-16.7(前期-17.2)とほぼ横ばいとなった。パルプ・紙・紙加工品、金属製品、一般機械器具で改善となったが、その他製造業と食品では低下している。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所、卸・小売・サービス、建設で改善し、全体でも1.5(前期-11.8)と「増加」超に転じている。

2019年10-12月期の予想DI(今期比)は、製造業(-22.2)、非製造業(-10.7)ともに低下の見通しとなっている(全産業では-15.4)。



④ 経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」の回答が2期ぶりに最多

表に掲げた、経営上の問題点を3つ選択する方式では、「受注・売上の停滞・減少」が「人材の育成」を上回り2期ぶりに最多となった。ただし、業種別でみると、製造業は「受注・

売上の停滞・減少」が最も多いのに対し、非製造業は「人材の育成」と「求人難」が同率で最多となっており、業種間での傾向の違いが表れている。

	2019年1-3月期		2019年4-6月期		2019年7-9月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 受注・売上の停滞・減少	89	39.9%	89	41.2%	96	43.6%	↑
2. 求人難	81	36.3%	88	40.7%	89	40.5%	↑
3. 人材の育成	85	38.1%	93	43.1%	87	39.5%	↓
4. 従業員の高齢化	81	36.3%	77	35.6%	82	37.3%	→
5. 人件費の増加	72	32.3%	55	25.5%	55	25.0%	→
6. 生産・販売能力の不足	36	16.1%	43	19.9%	49	22.3%	↑
7. 原材料・資材・仕入商品の値上がり	66	29.6%	51	23.6%	40	18.2%	↓
8. 過当競争・製品安	45	20.2%	38	17.6%	39	17.7%	→

(回答企業223社)

(回答企業216社)

(回答企業220社)

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業449社 回答企業数221社(回答率49.2%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2019年7-9月期 見通し:2019年10-12月期
5. 調査時点 2019年9月

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。